

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

事務事業名: 青少年育成推進会議運営事業
基本政策: 個性と文化を育む都市づくり
政策: 青少年の健全育成
施策: 健全育成支援体制の強化充実
事業期間: 単年度のみ
所属部局: 教育委員会
所属課室: 生涯学習課
所属担当: 青少年担当
事業区分: 国の制度による義務的事業
法令根拠:
事業費の主な内訳: 報償金 672, 消耗品費 135, 印刷製本費 939, 手数料 140, 計 1,886

1 現状把握(DO)

1 事務事業の目的と目標
① 活動: 24年度活動実績, 25年度活動予定
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等: 青少年(30歳まで)
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか): 青少年を取り巻く社会環境の実態を把握し、方策を検討し、適切な対策を講じる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか): 青少年の健全育成。
⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

Table with 9 columns: 年間トータルコスト, 事業費, 人件費, 活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標. Rows include financial breakdown (国庫支出金, 県支出金, etc.) and performance indicators (Activity, Target, Outcome, etc.) for 2012-2015.

3 この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等
① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?

4 改革改善の取り組み状況
① 改革改善の取り組み実施は?
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)
③ H 24年度に実施した改革改善の内容

事務事業名	青少年育成推進会議運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 青少年の健全育成のため、推進大会、青少年の生活指導要項、南アルプスの青少年、家庭の日の啓発作品のチラシ作成などの事業を行っている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 青少年の健全育成のため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 全市民を対象として青少年健全育成に取り組んでいる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の経費である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 【注意】ここでチェックした類似事業は「事務事業評価」において類似・統合に意味であり、事業内容とは無関係である。そのため「類似事業がない」にもチェックがある。
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 青少年の健全育成の停滞 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 同 左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の経費である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人員である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全市民を対象として青少年健全育成に取り組んでいる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	青少年育成推進員(112名)の報償及び市民会議事業での配布物の印刷経費である。評価は「適切」としているが、H22年度に青少年育成推進員の作業実態を検証し、報償費を半額に減額した。啓蒙パンフレット等の効果についても検討するが、「ある予算で作成する」範囲であるならば予算減額もやむを得ない。青少年育成関連の他事業統合を検討(補助金であるため事務事業では分けているが不自然)。事業20(12403)を参照青少年育成推進委員の活動内容の見直し(地区民会議等での役割)も検討課題である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 育成推進員の事業実態調査(地区民会議等での役割見直し) ② 啓蒙パンフレットの効果検証	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	④	コスト削減優先度評価結果	⑤																	
成果優先度評価結果	④																					
コスト削減優先度評価結果	⑤																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 学校・家庭・地域の連携を図り事業として継続していく必要があるため、予算額としては削減が難しい。中身を充実させていき青少年の健全育成に役立てていく必要がある。																						